

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		前期	2 単位
サブタイトル			講義	
担当者	植戸 貴子			
[アクティブラーニング授業]				
PBL(課題解決型)	○	反転授業	○	
ディスカッション・ディベート		グループワーク		
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク		
その他		実務経験のある教員による授業	○	
[到達目標]				
「ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ」及び「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ」で学んだことを踏まえて、ソーシャルワークに関する理論と方法の理解を深めることを目指す。				
①ソーシャルワークにおける援助関係の形成の意義・概念・形成方法・面接技法・アウトリーチについて理解できる。				
②ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発およびソーシャルアクションについて理解できる。				
③ネットワークの形成(ネットワーキングとコーディネーション)について理解できる。				
④ソーシャルワークに関連する方法(ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション)及びケースカンファレンスについて理解できる。				
[授業概要]				
1. ソーシャルワークにおける援助関係の形成(援助関係の意義と概念および形成方法、面接技術、アウトリーチ)について学ぶ。				
2. ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発およびソーシャルアクションについて学ぶ。				
3. ネットワークの形成(ネットワーキングとコーディネーション)について学ぶ。				
4. ソーシャルワークに関連する方法(ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーション)およびケースカンファレンスについて学ぶ。				
毎回の授業では、担当教員の障害者施設や高齢者施設でのソーシャルワーカーとしての実践経験や福祉援助職へのスーパービジョン経験などを活かして、ソーシャルワーク実践に求められる価値・倫理、専門的知識、専門的技術について、具体的な事例等を紹介しながら実践的に理解できるような授業を展開する。				
[準備学修(予習・復習)の内容・時間]				
各回、予習復習合わせて4時間程度の主体的な学修を行うこと。具体的には、前回の授業内容や小テストを復習し理解するとともに、次回の授業の予習をしておくこと。また文学やドキュメントなどを通して人間の生き方への関心を高めておくこと。				
[授業計画]				
1. 援助関係の意義と概念:ソーシャルワーカーとクライアントシステムの関係				
2. 援助関係の形成方法:自己覚知と他者理解、コミュニケーションとラポール				
3. 面接技術:面接の意義・目的・方法・留意点及び面接の場面・構造と面接の技法				
4. アウトリーチ:アウトリーチの意義・目的・方法・留意点、アウトリーチを必要とする対象、ニーズの掘り起こし				
5. 社会資源の活用・調整・開発:社会資源の活用・調整・開発の意義、目的、方法、留意点				
6. 社会資源の活用・調整・開発:ニーズの集約・提言・計画策定・実施・評価				
7. ソーシャルアクション:ソーシャルアクションの意義・目的・方法・留意点				
8. ネットワーキング:ネットワーキングの意義・目的・方法・留意点、セーフティネットの構築とネットワーキング及び家族・住民・サービス提供者間のネットワーキング				
9. ネットワーキング:重層的な範囲(ミクロ・メゾ・マクロ)におけるネットワーキング、多様な分野の支援機関とのネットワーキング				
10. コーディネーション:コーディネーションの意義・目的・方法・留意点				
11. ソーシャルワークに関連する方法:ネゴシエーション、ファシリテーション、プレゼンテーションの意義・目的・方法・留意点				
12. ケースカンファレンス:ケースカンファレンスの意義・目的・留意点・運営と展開				
13. まとめ				

科目名	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	植戸 貴子		
〔 成績評価方法 〕 試験(70%)、小テストおよびレポート課題(20%)、授業への取り組み(10%)で評価。 〔 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法 〕 小テストおよびレポート課題の評価は、翌週の授業において解答解説等によってフィードバックする。 〔 オフィスアワー(質問等の受付方法) 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 メールアドレス 〕 詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。 〔 この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP) 〕 学科DP番号／DP内容:福祉1-2／多様な福祉課題の解決に向けて、社会に貢献していくために必要な社会福祉の専門的な技能を身につけている。 成績評価方法:授業への取り組み 学科DP番号／DP内容:福祉2-2／多様な福祉課題の解決に向けて、人々の日常生活や社会生活を、福祉の視点で捉えるのみならず、人々の文化的背景も大切にしながら、包括的にマネジメントするために必要な判断力と実践力を有している。 成績評価方法:試験 学科DP番号／DP内容:福祉3-1／家庭・地域社会・職場において一市民としての自覚を持ち、また社会福祉専門職としての使命感を持って、社会に貢献していくための主体性を備えている。 成績評価方法:試験 〔 この授業と関連する大学全体の教育目標 〕 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢 成績評価方法:授業への取り組み 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢 成績評価方法:試験 教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力 成績評価方法:試験 〔 教科書(ISBN) 〕 書籍名:ソーシャルワークの理論と方法(社会専門) 著者名:日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 出版社名:中央法規出版 ISBN:9784805882498 〔 参考書(ISBN) 〕			